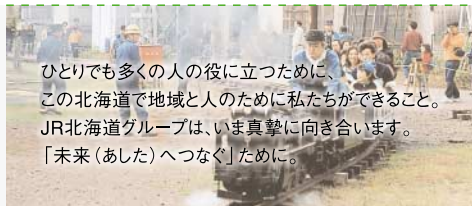


# あした 未来へつなぐ

【安全への取り組み②】



ひとりでも多くの人の役に立つために、  
この北海道で地域と人のために私たちができること。  
JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。  
「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂



線路上の雪を速く飛ばす「排雪モーターロータリー」。  
駅構内の除雪に活用されることが多いが、排雪モーター  
の機能を併せ持つことから駅間での除雪にも運用。56台  
中43台が新型

**より速く、より力強く線路上の雪を取り除く。  
新型車への取り替えにより、除雪体制を強化！**

**冬** 期の安全・安定輸送  
の確保」をテーマに

先月号でご紹介したポイント不転換の防止対策に続き、  
今月は除雪体制の強化についてご紹介します。

鉄道除雪といえば、昔ながらのラッセル車を思い浮かべる人も多いかと思いますが、昨今は複数の機種を取りそろえ、用途に応じて使い分けています。

そのひとつが駅間除雪で活躍する排雪モーターカーで

す。これは先頭部に取りつ

けた排雪板が、線路上に積

もった雪を脇へ押しやるこ

とで除雪するもの。続いて排

雪モーターカーにロータリー装

置を取りつけ、線路上の雪

を遠くへ飛ばすのが排雪モ

ーターロータリーです。用

途としては主に駅構内の除

雪に用いられます。そして、

二台連結により馬力向上を

図ったラッセルモーターカーは、

雪の多い線区での長距離除

雪で威力を発揮します。

ほぼ毎日夜間に出勤する  
「ラッセルモーターカー」。時速  
60kmと除雪機械の中でも最  
速で雪の多い線区で大活躍！



排雪モーターカーは時速50km  
で雪を脇へ押しやる除雪機  
械で除雪を急ぐ時に最適！  
58台中14台が新型



現在、保有台数は排雪モ

ーターカーが五八台、排雪モ

ーターロータリーが五六台、

ラッセルモーターカーが八台

の計一二二台で、排雪モ

ーターと排雪モーターロー

タリーについては、年五〜六

台ずつ計画的に新型機械へ

の取り替えを行い、除雪体制  
の強化を図っています。  
新型は旧型と比べ除雪処  
理能力が格段に向上してお  
り、たとえば排雪モーター  
ロータリーの場合、旧型が一  
時間当たり一八〇〇トの雪  
を処理するのに対し、新型は  
二三〇〇トと実に五〇〇ト

もアップ。

また、排雪モーターカーに取  
りつけた排雪板も固定式か  
ら左右に動く可変式になり、  
以前は単線でした運用でき  
なかつたのが、上下線のある  
複線区間でも運用できるよ  
うになりました。

これらの除雪機械は、事前  
に策定した運用計画をベー  
スに、そのときの降雪状況に  
応じて運用します。雪の降  
り方や量に関わらず降雪を  
予想し、あらゆる状況を想  
定しながら予防的に除雪を  
行っています。また輸送指令  
駅並びに列車の運転士から  
除雪の要請があれば、保線  
部門の担当者が除雪車を出  
動させ定時運行の確保に努  
めています。ただ、いくら機  
械の性能が向上しても、それ  
を有効活用するためには確  
かな情報と判断が不可欠。  
鉄道除雪は、列車運行に  
関わる各部門の担当者たち  
の綿密な連携によって成り  
立っているのです。